

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-06 □支 援 部 門		道路施設管理事業						
主管課	道水路管理課	関連課							
分野名	道路整備								
目標 (目標値)	生活環境や住民ニーズの多様化に伴う迅速かつ的確な対応を目指す								
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	57,542	56,089	55,398					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	57,542	56,089	55,398					
	人員配置数	5.0	4.0	4.0					
	人 件 費(千円)	43,930	36,401	36,083					
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	101,472	92,490	91,481					
	市民1人当 りの経費(円)	573	524	518					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値							

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
道路施設管理事業	57,542千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E	
	事業の概要	道路機能を良好に保持するための事業							
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要								
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要								
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要								
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要								

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	エスカレーターの監視・清掃等業務委託料の削減				
課題解決のための取組	県内各市の管理状況を調査				
未解決の課題	監視機器の電源供給(電気事業法)等の問題で、二社体制を変更できない				
今後の方針	西口ペDESTリアンデッキ供用や東口エスカレータ改修時期に併せ、別の方法で削減を目指す				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 道水路管理課長 稲葉 一男

